

26 富士通(株) > 導入先：薩摩川内市【鹿児島県】

次世代エネルギー等を活用した市民サービス

鹿児島県薩摩川内市と富士通(株)は、人口減少や高齢化の進展、地域経済の衰退などに伴う課題への対策として「次世代エネルギーを活用した市民サービス」を検討。家庭内で計測した電力使用量などの情報を活用した見守り支援サービスの事業化に向けた実証を開始した。

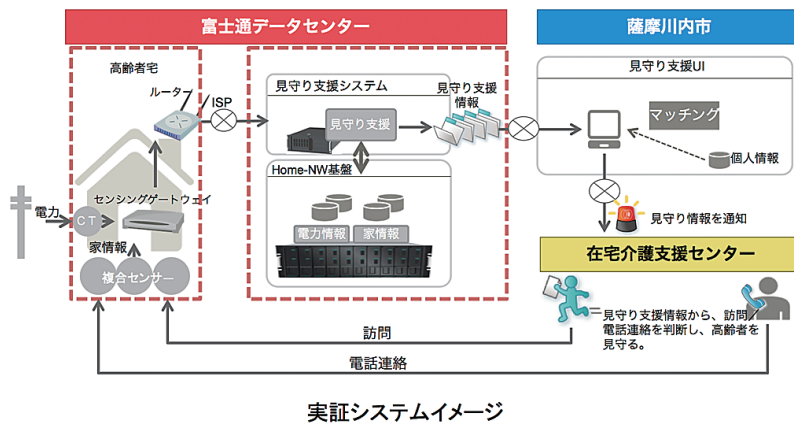
背景

九州地域における基幹エネルギー供給基地を持つ鹿児島県薩摩川内市では、エネルギー問題にいち早く着目。2012年には、人口減少や高齢化の進展、地域経済の衰退などに伴う課題への対策として、市民サービス拡充のための次世代エネルギー活用などを検討する「薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会」を設置し、様々な角度から検討を実施した。2013年には次世代エネルギー活用について薩摩川内市が進むべき方向性を示した「次世代エネルギービジョン」および「行動計画」を策定している。薩摩川内市と富士通(株)は本計画を実現するために、家庭内で計測した電力使用量などの情報を活用した見守り支援サービスの事業化に向け実証を推進している。富士通(株)は、この委員会に設立当初より参画し、ICT活用に関するノウハウを提供し、協力してきた。

概要

薩摩川内市在住の高齢者約100世帯を対象に見守り支援サービスを提供。本実証では以下の仕組みの有効性の検証と事業化について検討を行う。

- ① 本実証に参加する高齢者宅に電力使用量の計測器と、温度・湿度・照度・気圧などが測定できる複合センサーを設置し、データを収集。
- ② 収集したデータを富士通のクラウドセンターにて蓄積、分析することにより、見守り対象者の生活リズムや住環境の状態を導き出し、行動推定を実施。
- ③ 行動推定情報を元に見守る側である薩摩川内市内の関連部門が、見守り対象者宅訪問の要否を判断。本仕組みが実現することによって、たとえば家庭ごとの熱中症予報が確認でき、罹患予防に役立てることが可能となる。2014年度は、システム環境の構築、モニタ宅の選定および機器設置などを行い、2015年度にフィールド実証を予定。



アピールポイント

- 薩摩川内市全域で行ってきた声掛けや定期訪問などの高齢者見守り活動に、ICTを活用することによる効率化、および質の向上を狙う。
- 富士通は「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティの実現」を掲げ、ICTの利活用によって人がより豊かに安心して暮らせる社会づくりを目指している。社会の変革を支えるドライバーとして、スマートシティを積極的に推進している。



人

Key Person

鹿児島県薩摩川内市 企画政策部 新エネルギー対策課長 久保信治氏：「次世代エネルギービジョン」および「行動計画」具現化に向けてリーダーシップを発揮した。
 富士通株式会社 スマートシティ・エネルギー推進本部 ビジネス推進統括部 尾崎忠之氏：「薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会」に設立当初から参加する唯一のICTベンダーとして、ICT活用に関するノウハウを提供、計画策定に協力した。



久保信治氏



尾崎忠之氏

富士通株式会社 <http://jp.fujitsu.com/>

(詳細はこちら) <http://jp.fujitsu.com/about/csr/feature/2012/smartcity>

富士通コンタクトライン ☎0120-933-200 受付時間：9:00～17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)